

ゼンスイウォータークリーナーをお買い上げ頂きありがとうございます。
当製品を安全にお使い頂くために、この説明書をよくお読み下さい。
誤った使い方は、人・動物・財物の重大な事故につながる危険があります。
読み終えた後は必ず保管して、必要な時に応じてお読み下さい。



警告

濡れた手で電源プラグやコンセントはさわらないで下さい。 感電の原因になります。	
煙・異臭・異音が出た場合は使用を中止して下さい。 火災・感電の原因になります。	
電源は交流 100V以外では使用しないで下さい。 漏電・感電の原因になります。	
分解や改造をしないで下さい。 火災・感電の原因になります。	
お子様がセットされる場合は必ず大人が付き添って指導して下さい。 感電・やけどの原因になります。	
電源コードを引っ張ったり、束ねたり、重いものを乗せたり、無理に曲げたりしないで下さい。 感電・火災の原因になります。	
差し込みプラグを根元までしっかり差し込んで下さい。 感電・トラッキングの原因になります。	
タコ足配線はしないで下さい。 火災の原因になります。	

■ 使用上の注意

- 以下の作業は必ずコンセントからプラグを外し、通電されていないことを確認してから行って下さい
 - ①セットするとき
 - ②濾過材を洗うとき
 - ③機械を移動するとき
 - ④誤って機械を池に落としたとき
 - ⑤ランプを交換するとき
- 中間スイッチ、漏電ブレーカー（別売）は必ず室内に取付けて下さい
- 時々、電気コードや差し込みプラグを点検して下さい
- 電気コード、差し込みプラグは傷んだまま使用しないで下さい
- コードを足で引っかけて機械を倒したり、また強い衝撃を与えたり、水の中に落としたりしないで下さい
- 故障した場合、コンセントをプラグから外し、販売店にご相談下さい

■ ゼンスイウォータークリーナーの働きについて

魚が健康で美しく育つには、水質の問題が第一です。
給水が少量で魚に餌を与えていると、排泄物のアンモニアなどは次第に増加し、増肉係数は悪くなります。つまり餌を多く与えても大きくなりません。アンモニアがもっと多くなると魚は斃死します。
外傷もなく原因不明で魚が突然死ぬ場合がありますが、そのほとんどが水質に起因しているといつてよいでしょう。

ゼンスイウォータークリーナーはゴミを濾すばかりでなく、水質濾過をします。濾材に自然繁殖する循環濾過バクテリアが、魚の排泄物のアンモニア等を分解・除去します。たえず循環濾過することにより、アンモニア等やPHは安定し、溶存酸素も豊富で《魚の棲みやすい水》を作ります。

■ ゼンスイウォータークリーナーのポンプについて

ポンプは軸流式ですので、滝や噴水等には使用できません。

ゼンスイウォータークリーナーから塩ビパイプで離れたところに水を送る場合、吐出口から水平もしくは少し下げて配管して下さい。

(※ご注意…絶対に吐出口より高くしないで下さい)

塩ビパイプを吐出口に接続する場合、30W製品で 75m/m、10W製品で 65m/m の塩ビパイプ V U が加工せずにそのまま接続できるように設計してあります。

■ モーターについて

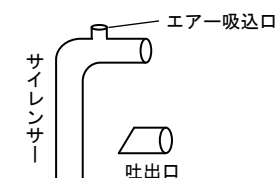
モーターはゼンスイウォータークリーナー用として開発、製作しますので、連続運転が可能です。運転中の温度は 70 ～ 80℃ に上昇しますが問題はありません。モーターに負荷がかかり、100℃ 以上になると運転が止まります。温度が下がるとまた動きますが、一旦使用をやめ、原因を確認してから再度使用して下さい。

おもな原因として、ゴミが濾過材に詰まって、水が上がりなかつたり、インペラにゴミが詰まるケースがあります。

■ サイレンサーについて

30W・10Wの製品は揚水量が多く、水面に水が落ちる時にかなりの音がします。水の音が気になったり、小さな池での使用で水しぶきが散る等を解消するためにサイレンサー（P A T）を開発しました。サイレンサーは単に音を消すだけではありません。ハイドロエアージェット方式で、水が通過する時にエアーを充分吸い込み、自動的に酸素補給ができる仕組みです。吐出口から水を落とすよりも、水の流れがよくなり、水中に超音波を発生させ、魚の消化等を促進する作用がありますので、夜だけではなく日中もご活用下さい。

<サイレンサーの取付け方>



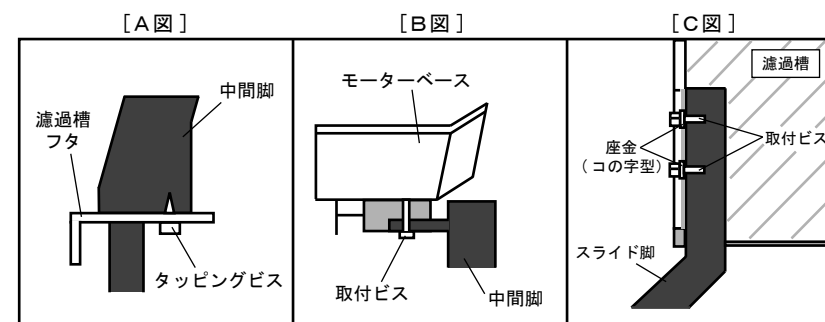
サイレンサーキャップ
(こちらを水中にセットする)

サイレンサーを付けるときは、
吐出口を外して付け替えて下さい。
取付部より上に向けて使用しないで下さい。

■ 組立てについて（大正 30 L・大正 30M・山吹 1 型）

組立て前に破損等がないか必ず点検して下さい。

- ① 中間脚（4 本）を濾過槽のフタの穴に差し込みます。ビスは先端のとがったタッピングビス（4 本）を使用しますので、かなり力いっぱい締め付けて下さい。[A 図]
- ② 中間脚（4 本）をモーターベースに取付ビスで取り付けます。[B 図]
- ③ 濾過槽にスライド脚（4 本）を差し込み、2 本の取付ビスで座金（コの字型の止め）をはさんで締めます。[C 図]
- ④ 吐出口には吐出短管、またはサイレンサーをセットします。
- ⑤ 梱包内に入っている大正 30 L（蛍光球）・山吹 I 型（蛍光球）を、笠を取り外してセットして下さい。



■ 設置について（大正 30 L・大正 30M・山吹 1 型）

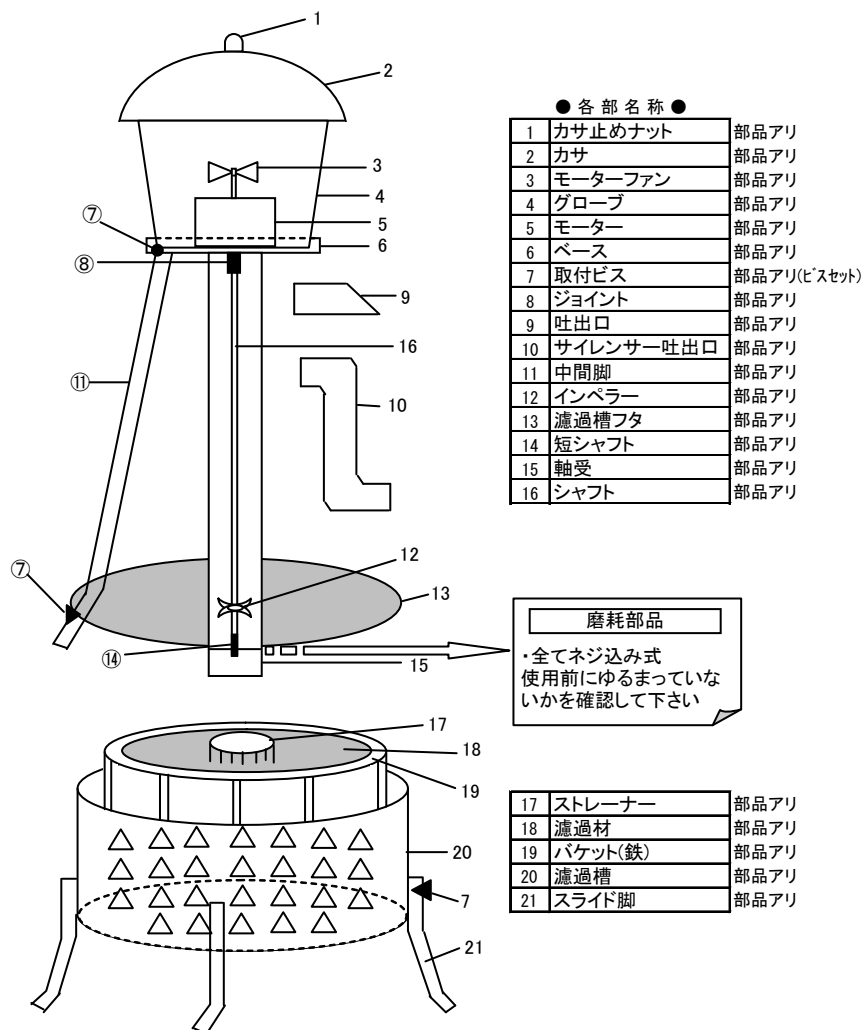
池の水が全体によく流れやすい場所に、次のように設置して下さい。

- ① 濾過槽を池に入れて、水面から濾過槽の上部まで 5 ～ 10 cm 程度になるようにスライド脚で調節します。池の深さ、凸凹の池底でも水平になるようにスライド脚を上下作動してセットして下さい。
- ② 本体を濾過槽にセットします。

※ スイッチ・漏電ブレーカー（別売）は必ず室内に取付けて下さい
※ 安全の為に漏電ブレーカーを取付けて下さい

展開図

大正 30 L / 錦 10 D L / 山吹 1 型

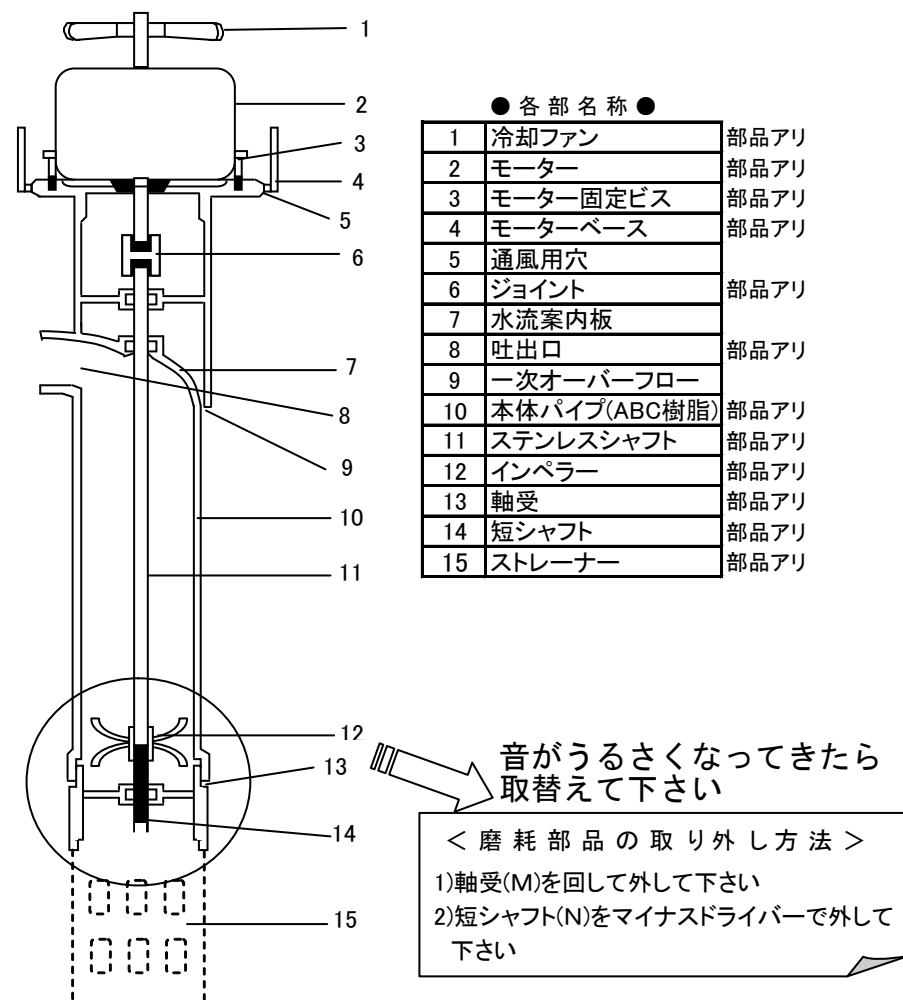


■ 部品の注文について

商品を購入した販売店で、上記各部名称でご注文下さい。

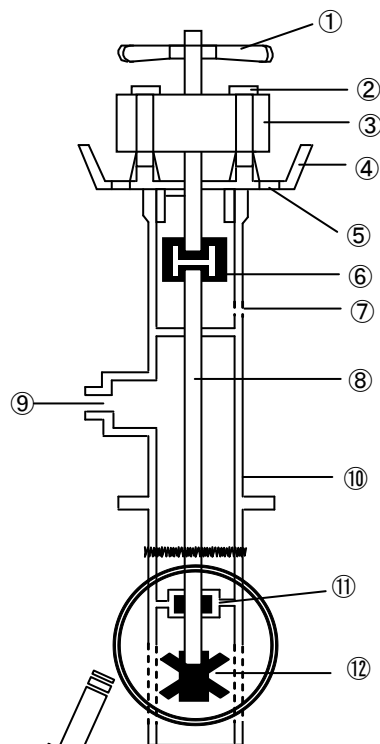
部品展開図

大正 $\frac{30}{30M}$ L / 錦 $\frac{10}{10M}$ D L / 山吹 1 型



展開図

菊水 7 L / 和金 5 D L



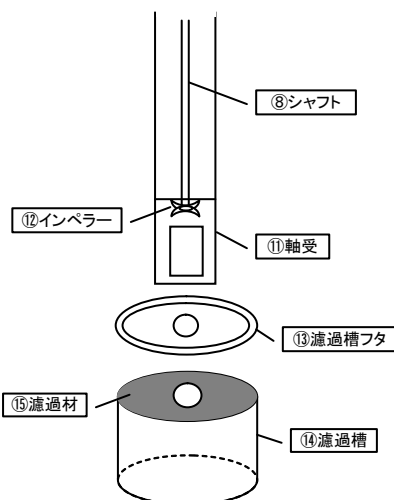
● 各部名称 ●

① 冷却ファン	部品アリ
② モーター固定ビス	部品アリ
③ モーター	部品アリ
④ モーターベース	部品アリ
⑤ 通風用穴	
⑥ ジョイント	部品アリ
⑦ オーバーフロー	
⑧ シャフト	部品アリ
⑨ 吐出口	部品アリ
⑩ パイプ	部品アリ
⑪ 軸受	部品アリ
⑫ インペラー	部品アリ
⑬ 濾過槽フタ	部品アリ
⑭ 濾過槽	部品アリ
⑮ 濾過材	部品アリ

音がうるさくなってきたら
取替えて下さい

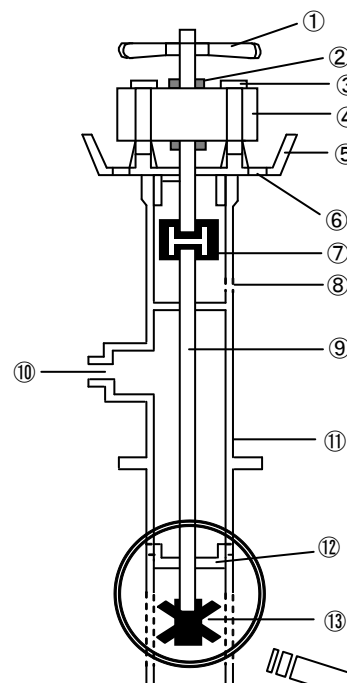
< 磨耗部品の取り外し方法 >

- 1) 吐出口 (⑨) からペンチでシャフト (⑧) を動かさないようにつかみます
- 2) 下からインペラー (⑫) を左に回して取ります
- 3) 下から軸受 (⑪) をゆるむ方向に回して取ります



展開図

コメット 4 L / 琉金 3 L



● 各部名称 ●

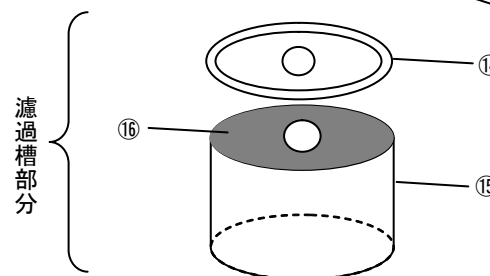
① 冷却ファン	部品アリ
② ブラケット(上・下)	
③ モーター固定ビス	部品アリ
④ モーター	部品アリ
⑤ モーターベース	部品アリ※
⑥ 通風用穴	
⑦ ジョイント	部品アリ
⑧ オーバーフロー	
⑨ シャフト	部品アリ
⑩ 吐出口	部品アリ
⑪ パイプ	部品アリ※
⑫ 軸受	部品アリ
⑬ インペラー	部品アリ
⑭ 濾過槽フタ	部品アリ
⑮ 濾過槽	部品アリ
⑯ 濾過材	部品アリ

※ ⑤モーターベースと⑪パイプは接着しています
⑤モーターベースのみ、⑪パイプのみの部品販売はありません。

音がうるさくなってきたら
取替えて下さい

< 磨耗部品の取り外し方法 >

- 1) 吐出口 (⑩) からペンチでシャフト (⑨) を動かさないようにつかみます
- 2) 下からインペラー (⑬) を左に回して取ります
- 3) 下から軸受 (⑫) をペンチでつまんで引き出します

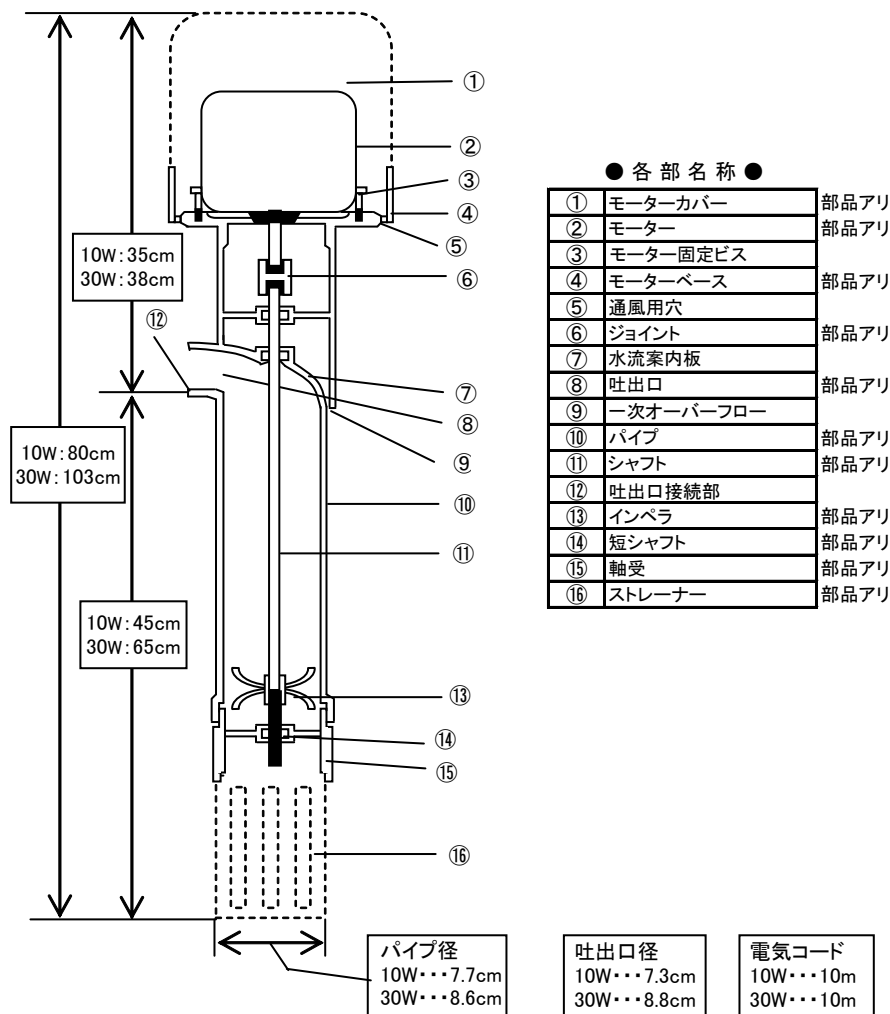


■ 部品の注文について

商品を購入した販売店で、上記各部名称でご注文下さい。

展開図

ビッグポンプ (10W・30W)



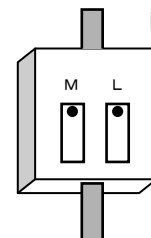
■ 部品の注文について

商品を購入した販売店で、上記各部名称でご注文下さい。

■ 運転について

＜大正 30 L / 錦 10 D L / 菊水 7 L / 和金 5 D L＞

- ① 差込みプラグを電源に入れて下さい。
- ② 漏電ブレーカーをセットした場合は、必ず漏電ブレーカーのテストボタンを押して下さい。また、月に一度テストボタンを押して、作動確認を行って下さい。
- ③ 中間スイッチ (M: モータースイッチ) を入れて運転して下さい。
- ④ 中間スイッチ (L: 照明スイッチ) を入れてテストして下さい。
(※ランプの点灯は夜だけにして下さい)
- ⑤ 水深が浅い場合には (インペラの位置まで水がない場合) モーターが回っていても水が出ませんので、ご注意下さい。



■ 中間スイッチ ■

琉金 3 L・コメット 4 L・錦 10 M・大正 30 M・ビッグポンプには中間スイッチはありません

M・・・モータースイッチ L・・・照明スイッチ

※防水タイプではありませんので、雨のかからない場所にセットして下さい
※万一の漏電事故防止のため、漏電ブレーカー (別売) の使用をお勧めします

＜コメット 4 L / 琉金 3 L＞

- ① 差込みプラグを電源に入れて下さい。
- ② ベース下にあるランプのスイッチを入れてテストして下さい。
(※ランプの点灯は夜だけにして下さい)
- ③ 水深が浅い場合には (インペラの位置まで水がない場合) モーターが回っていても水が出ませんので、ご注意下さい。

＜錦 10 M / 大正 30 M / ビッグポンプ 10 W・30 W＞

- ① 差込みプラグを電源に入れて下さい。
- ② 水深が浅い場合には (インペラの位置まで水がない場合) モーターが回っていても水が出ませんので、ご注意下さい。

■ 濾過材の掃除について

濾過材が目づまりすると、ポンプの揚水量が減ってきます。減り具合を見て、できるだけ早めに掃除して下さい。なお、掃除中に魚が鼻上げする場合は、濾過材のみ取り出して、元のように池に設置し、水を循環して酸素補給を行って下さい。

- ①掃除をする際は、必ず電源の差込みプラグを抜いて下さい。
- ②本体を濾過槽から取り出して、安全なところに置いて下さい。
- ③濾過槽ごと池から引き上げ、洗浄場に運んでから中の濾過材を取り出して掃除して下さい。
- ④掃除が終わったら元どおり池に設置して下さい。



洗剤・アルコール等は使用しないで下さい。
水のみで掃除をして下さい。
濾過槽を傷める材質のもので洗わないで下さい。

■ 機械的消耗について

1年以上使用していると、シャフトが磨耗してきて、音がするようになりますので、シャフトの交換をして下さい。軸受が磨耗した時も交換して下さい。各機種 of 磨耗部品の取り外し方法を見て、取り替えて下さい。(6～8 ページ)